

日本中国語学会第61回全国大会プログラム

2011年10月29日(土), 30日(日)松山大学

I. 前日 10月28日(金)

17:00~19:00 理事会(東本館7階会議室1)

II. 第1日 10月29日(土)

10:30~12:00 評議会(カルフル3階会議室1&2)

12:00~ 受付(カルフル3階)

役員選挙投票(~16:55)

13:00~13:05 開会式(カルフル3階ホール)

開会の辞 日本中国語学会会長 平田 昌司

13:05~16:00 シンポジウム「漢語北方話的進行持続体」(カルフル3階ホール)

講演

13:05~13:15 「前言」 下地 早智子(神戸市外国語大学)

13:15~13:35 「陝西清澗話、西安話、西寧話的進行持続体」 劉 勳寧(明海大学)

13:35~13:55 「山西話的“持続”与“進行”」 沈 力(同志社大学)

13:55~14:15 「“正”、“在”、“着”的歷時・共時考察—以元明清白話語料和山東話為中心」 孟 子敏(松山大学)

14:15~14:35 「朝鮮資料、滿漢資料所反映的元明清北方話進行持続体」
竹越 孝(神戸市外国語大学)

休息

14:50~15:10 「19、20世紀日本漢語教科書所反映的北京話進行持続体」
下地 早智子(神戸市外国語大学)

15:10~15:20 「按語」 林 範彦(神戸市外国語大学)

15:20~16:00 自由討論 主持人:林 範彦(神戸市外国語大学)

* より深い討論ができるよう、上記の講演稿を9月末頃に学会ホームページにPDFファイルでアップします。

16:10~17:40 ポスターセッション(カルフル2階談話コーナー)

※これは発表者が全員会場にいる時間帯であり、ポスターは午後を通して掲示されます。

17:00~18:00 総会(カルフル3階ホール)

18:15~20:15 懇親会(カルフル1階カフェテリア)

III. 第2日 10月30日(日)

8:30~ 受付(7号館1階東側入口)

9:30~11:50 分科会研究発表 午前の部(7号館2階)

11:50~13:00 昼食・休憩(7号館1階710・711・712教室)

13:00~16:30 分科会研究発表 午後の部(7号館2階)

ポスターセッション（10月29日）

会場（カルフル2階談話コーナー）16:10~17:40

1. 副詞“倒”の意味機能 — 「接続」・「主観性」をめぐって— 大阪大学（院） 中田聡美
2. アスペクト標識「著」が生起する存在文 台湾元智大学 薛 芸如
3. 关于表“可能”的过去否定式 龍谷大学 史 彤嵐
4. 嘗試標誌「試試」 早稲田総研インターナショナル 張 佩茹
5. モーラの観点から見直す中国語の音韻構造 北海道大学（院） 張 馳
6. 古漢語中的定語後置現象 — 「而」字再考 — 大阪大学（院） 簡 靖倫
7. 中国語の文末遊離数量詞と分配読み 九州大学（院） 郭 楊
8. 『春阿氏』の言語について 首都大学東京 落合守和
9. 汉语与日语确认要求表现之比较—以“吧”和“だろう”为例— 慶應義塾大学 黄 琬婷
10. 从存现句和无定名词主语句看感知的表达形式 桜美林大学 雷 桂林
11. 中文发音多媒体教材的开发及应用——摄像头功能的音像教材
大阪大学 郭 修靜, 村山健二, 並川青慈, 並川嘉文
12. 漢語語音史中近代音「分期原則」試議 国立中正大学 顏 靜馨
13. 多功能器官「口」在漢語熟語中的語義延伸 台湾・東海大学（院） 吳 賢妃
国立中正大学 顏 靜馨

分科会研究発表（10月30日）

〈1前〉音韻方言部会：第1会場（7号館2階721教室）9:30~11:50

1. 湖南省江華瑶族自治県の梧州話の連読変調に見られる非漢語性
東京大学（院） 濱田武志
2. 青海・甘肅地域の漢語と少数民族言語の音声・音韻に見られる相互影響
山口大学 更科慎一
以上司会 神戸市外国語大学 林 範彦
3. ヴァチカン図書館蔵『新遺詔書』に記される粵語の方言音 東京大学 吉川雅之
4. 十九世紀粵语音译外来語语音的变調
京都産業大学 矢放昭文
以上司会 同志社大学 中西裕樹

〈1後〉音韻方言部会：第1会場（7号館2階721教室）13:00~16:30

1. 閩東区古田県大橋方言的音韻特点 愛媛大学 秋谷裕幸
2. 福建的語言地理學研究：福建内陸方言的一些特點 国立中央大学 鄭 曉峯
3. 閩南語泉州音系分類析論—試論臺灣西部海口腔分類
台湾国科会人文学研究中心 李 仲民
以上司会 青山学院大学 遠藤光暁
4. 论音韵诠释的重估现象——《等韵图经》“垒摄”、“祝摄”和“拙摄”的结构调整
松山大学 呂 昭明
5. 「台湾国語」研究史—その社会言語学的側面について 西南学院大学 有働彰子
6. 台灣華語焦點變調範疇的劃分 国立政治大学（院） 石 書豪
以上司会 早稲田大学 古屋昭弘

〈2前〉歴史語法部会：第2会場（7号館2階722教室）9:30～11:50

1. 使役動詞“让”の北方における歴史的変遷—現代漢語の成立過程を探る—
筑波大学(院) 今村 圭
2. 中国近世語に見られる話し相手を導く介詞について
新潟大学 干野真一
以上司会 神戸市外国語大学 竹越 孝
3. 定語が人称代詞を修飾する構造について—日中言語接触の観点から
関西大学(院) 稲垣智恵
4. 『今古奇観』原文と北京官話訳の対照研究
首都大学東京 荒木典子
以上司会 文教大学 山田忠司

〈2後〉歴史語法部会：第2会場（7号館2階722教室）13:00～16:30

1. 古漢語動詞省略的信息結構和語篇功能
台湾元智大学 徐 富美
2. 中古雙音組合特色與詞彙網絡之建構—以醫治為例
台湾・東海大学 周 玫慧
3. 「捉」的雙音並列組合—以魏晉南北朝為例
台湾・東海大学(院) 郭 芝羽
以上司会 北海道大学 松江 崇
4. 清末官話教本について—『官話指南』と『京話指南』を中心に
関西大学 氷野善寛
5. 近代日本における『語言自邇集』の受容と展開
関西大学(院) 氷野 歩
6. 19世紀80年代中日译词发展和交流管窺—以斯宾塞中日译本为中心
関西大学(院) 王 彩芹
以上司会 大阪市立大学 岩本真理

〈3前〉教育部会：第3会場（7号館2階723教室）9:30～11:50

1. “我们学习汉语在大学” “我们去七点吧” から見た関連文法項目の学習順序と習得順序
釧路公立大学 鈴木慶夏
2. テキスト、e-Text、e-Learning のシームレスな連携による中国語教育の効率化
法政大学 鈴木 靖
以上司会 富山大学 山田眞一
3. 同一個人における中国語使用時と日本語使用時のピッチレンジの変化
早稲田大学 齊藤 遥
4. 中国語の韻尾鼻音「in」・「ing」の音声分析と聞き分けの指導法について
東北大学 緒方哲也
以上司会 神戸大学 朱 春躍

〈3後〉歴史語法部会：第3会場（7号館2階723教室）13:00～15:55

1. 明清閩南語文獻視覚動詞「見」kinn3 の多重語法功能
国立台中技術学院 張 群
国立新竹教育大学 黄 漢君, 蕭 景峻, 王 小梅
2. 明清閩南戲文中受益標記「共」的探索
国立清華大学(院) 蘇 建唐
3. 台湾閩南語遠指位移動詞「去」的歴時發展
国立清華大学(院) 胡 佳音
以上司会 中央大学 遠藤雅裕

4. 武汉方言“把”的两条语法化路径 関西学院大学 趙 葵欣
 5. 《“以+X”的词汇化及其性质》 愛知県立大学 張 金平
 以上司会 東京外国語大学 三宅登之

〈4前〉現代語法部会(1)：第4会場（7号館2階720教室）9:30～11:50

1. “里”の語義・機能拡張について 神戸大学(院) 陳 昌柏
 2. 前置詞フレーズが二つならぶとき 愛知県立大学 中西千香
 以上司会 東京外国語大学 望月圭子
 3. 子供の言語発達における代名詞の指示対象の同定 香港中文大学(院) 柴田奈津美
 University of California, Los Angeles(院) 八島 純
 4. 台湾閩南語指代詞「伊」和「儂」的比較研究 国立清華大学(院) 蕭 佩宜
 以上司会 神戸市外国語大学 下地早智子

〈4後〉現代語法部会(2)：第4会場（7号館2階720教室）13:00～15:55

1. 閩南語「免」bian2 的用法初探 国立清華大学 連 金發
 2. 從致動構式與人際構式看客語 lau 標記之語意角色(有講評)
 国立新竹教育大学 黃 漢君, 葉 瑞娟, 国立台中技術学院 張 群
 3. 动结致使構式的典型特征 上海師範大学 石 慧敏
 以上司会 筑波大学 佐々木勲人
 4. 結果構文の意味解釈はどこから来るのか?
 —コーパスデータに基づくイベント構成原理の考察— 跡見学園女子大学 鈴木武生
 5. 中国語と日本語の複合動詞における統語構造と語構造の相関性
 早稲田大学 申 亜敏, 東京外国語大学 望月圭子
 以上司会 中央大学 石村 広

〈5前〉現代語法部会(3)：第5会場（7号館2階724教室）9:30～11:50

1. 金門閩南語疑問詞問句 国立新竹教育大学 劉 秀雪
 2. 台湾閩南語之限定時段連詞組「若na2...若na2...」 国立清華大学(院) 許 婷婷
 以上司会 熊本学園大学 石 汝杰
 3. 中国語の“能”と“会”—「働きかけ」と「事態生起」に注目した分析—
 筑波大学(院) 大江元貴
 4. 可能性、必要性及否定之錯配：以臺灣客語「做」類與「使」類情態詞為例
 国立政治大学(院) 葉 秋杏
 以上司会 鹿児島大学 三木夏華

〈5後〉現代語法部会(4)：第5会場（7号館2階724教室）13:00～15:55

1. 名詞性偏正短语与论元角色的变化 大阪大学 金 昌吉
 2. “把”字句和“被”字句的不对称—与补语的关系 大阪大学・大阪工業大学 嚴 馥
 以上司会 同志社大学 沈 力

3. “文法草创期”的汉语语法研究考察——从英语语法书的影响说起

関西大学(院) 海 晓芳

4. 由科學分類與語用認知的落差探索詞彙認知的特性及文化蘊涵—以毛髮類成語為例

台湾・東海大学 周 世箴

以上司会 明海大学 劉 勳寧

〈6前〉現代語法部会(5)：第6会場（7号館2階725教室）9:30～11:50

1. 被災から復興へ 中国語希望表現の特徴抽出

早稲田大学 砂岡和子

2. 日中伝聞表現の比較対照

東北大学(院) 吳 蘭

以上司会 関西大学 山崎直樹

3. 現代汉语礼貌功能的理論构建—兼析日本学生的母语干涉与“失礼”困惑—

神奈川大学 彭 国躍

4. 客語「抱怨」的語言行為研究

国立新竹教育大学 吳 睿純

以上司会 大阪大学 杉村博文

〈6後〉現代語法部会(6)：第6会場（7号館2階725教室）13:00～15:55

1. 中国語「A+B B」型形容詞における「B B」の意味分析(有講評)

神戸大学(院) 游 韋倫

2. A A B Bタイプ重ね型における認知のモードとその生産性について

立命館大学 張 恒悦

3. 中国語におけるオノマトペの述語用法 —2音節オノマトペに焦点を当てて—

東京外国語大学(院) 黄 慧

以上司会 中京大学 張 勤

4. 現代汉语中的一类特殊否定副词

南京航空航天大学 葛 金龙

5. 语气副词的表达功能分类—兼析语气副词的否定功能

立命館大学 章 天明

以上司会 東京大学 楊 凱榮

分科会タイムスケジュール

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
司会	林範彦	竹越孝	山田眞一	望月圭子	石汝杰	山崎直樹
9:30～10:00	濱田武志	今村圭	鈴木慶夏	陳昌柏	劉秀雪	砂岡和子
10:05～10:35	更科慎一	干野真一	鈴木靖	中西千香	許婷婷	吳蘭
司会	中西裕樹	山田忠司	朱春躍	下地早智子	三木夏華	杉村博文
10:45～11:15	吉川雅之	稲垣智恵	齊藤遙	柴田奈津美	大江元貴	彭国躍
11:20～11:50	矢放昭文	荒木典子	緒方哲也	蕭佩宜	葉秋杏	吳睿純
11:50～13:00	昼食・休憩					
司会	遠藤光暁	松江崇	遠藤雅裕	佐々木勲人	沈力	張勤
13:00～13:30	秋谷裕幸	徐富美	張群	連金發	金昌吉	游韋倫
13:35～14:05	鄭曉峯	周玟慧	蘇建唐	黃漢君		張恒悦
14:10～14:40	李仲民	郭芝羽	胡佳音	石慧敏	嚴馥	黃慧
司会	古屋昭弘	岩本真理	三宅登之	石村広	劉勲寧	楊凱榮
14:50～15:20	呂昭明	氷野善寛	趙葵欣	鈴木武生	海曉芳	葛金龙
15:25～15:55	有働彰子	氷野歩	張金平	申亜敏	周世箴	章天明
16:00～16:30	石書豪	王彩芹				

※ 共同発表の場合には、筆頭発表者のみを表示してあります。

※ 1発表あたりの持ち時間は、発表20分、質疑応答10分です。(有講評)は発表15分、講評3分、回答2分、質疑応答10分となります。

※ 今年度は各発表の間に教室間の移動用に5分間の休憩を設定してあります。次の発表者のパソコン調整のためにも必要ですので、定時進行にご協力をお願いします。

●参加方法

今年度は、事前登録は不要です。当日直接お越しいただければ結構です。

- | | |
|--------------------------|--------------|
| (1) 参加費 (予稿集代を含む) | 3,000円 |
| (2) 10月29日 (土) 懇親会費 | 一般 4,000円 |
| | 院生・学生 3,000円 |
| (3) 10月30日 (日) 昼食 (弁当) 代 | 1,000円 |

※お弁当は十分な数を準備する予定ではありますが、万一売り切れの場合はご容赦ください。
会場周辺にも飲食店は相当数あります。

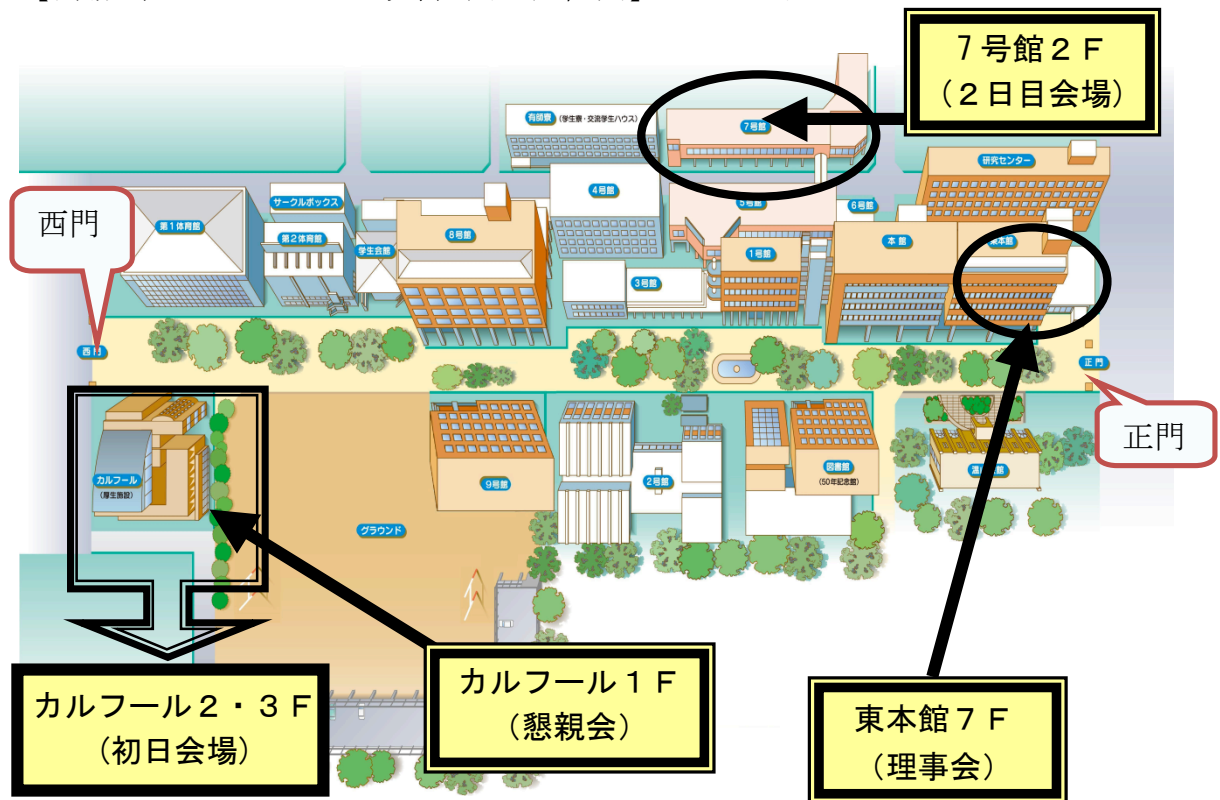
※「予稿集」を2部以上ご購入なさりたい場合は、大会終了後に学会ホームページ
http://www.chilin.jp/annual_meeting/past_issue.html

に記載されている要領に従って、好文出版あてにご注文ください。

また、大会には不参加だが予稿集のみ購入ご希望の方も同様です。

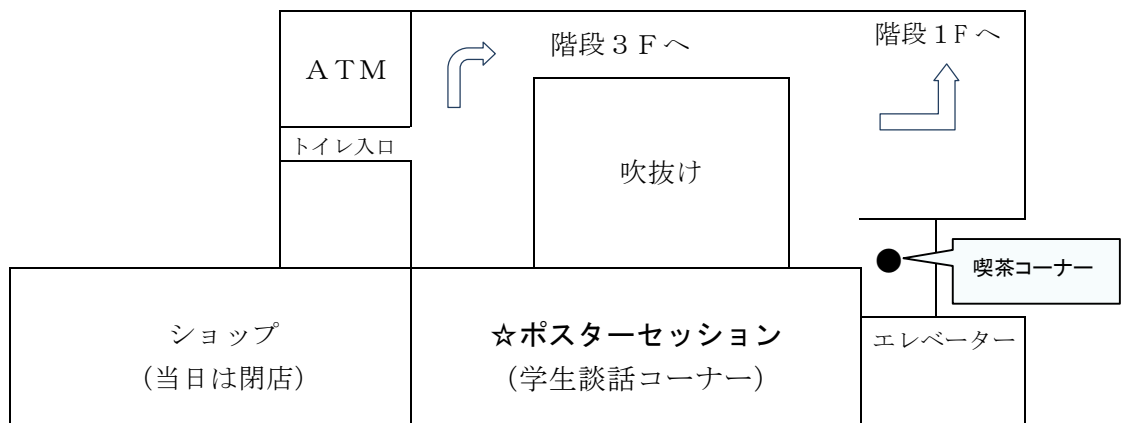
※宿泊先の紹介・斡旋は行いません。各自でご予約ください。

【会場（カルフルール・7号館）周辺配置図】 ▲上が北



【ポスターセッション及び分科会会場配置図】

1日目会場【カルフルール2F】▲上が北



2日目分科会会場【7号館2F】▲上が北

受付・クローク・休憩室は1F。書店展示は地下。

	階段	テラス					階段	720 第4会場
								トイレ(女)
トイレ(男)	725 第6会場	724 第5会場	723 第3会場	722 第2会場	721 第1会場			

松山大学までの交通のご案内

鉄道	JR 松山駅 松山市駅	①伊予鉄道市内電車環状線（15分）古町経由 （タクシー10分約1000円） ②伊予鉄道市内電車環状線（20分）上一万経由 （タクシー10分約1000円）	鉄砲町 松山大学 正門まで 徒歩5分
飛行機	松山空港	空港リムジンバス松山市駅行きでJR松山駅まで(20分)*後は①にと同じ。 (タクシー25分約2400円)	
船	松山観光港 (広島・九州)	連絡バス3分、高浜駅から伊予鉄道郊外線（15分）で古町駅。市内電車環状線に乗り換え（10分）。 観光港リムジンバス松山市駅行きでJR松山駅まで(20分)*後は①にと同じ。 (タクシー30分約2800円)	
	三津浜港 (柳井)	タクシー3分で三津駅。伊予鉄道郊外線に乗り、10分で古町駅。市内電車環状線に乗り換え（10分）。 路線バス36分で松山市駅。市内電車環状線に乗り換え（20分）。 (タクシー25分約2500円)	



松山大学文京キャンパス 愛媛県松山市文京町4-2 TEL. 089-925-7111 (代表)
<http://www.matsuyama-u.ac.jp/>

- ◆会場及び受付は初日と2日目で異なります。
- ◆市内電車は鉄砲町・清水町のいずれかで下車しても可。それぞれ徒歩で正門・西門まで約5分。
- ◆駐車場は利用できませんが、正門近くに100円パーキングがあります。